

上:《丹波下山の部落》[京都府船井郡京丹波町下山]1969年

下:《春叢》[埼玉県東松山市神戸]1988年

\*[ ]内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。



# 京都と — 向井潤吉が描いた 武蔵野 ふたつの風景

2025  
4/1(火) ~ 9/7(日)

開館時間 | 10:00~18:00(入館は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)。5月5日(月・祝)、5月6日(火・振休)、7月21日(月・祝)、8月11日(月・祝)は開館、5月7日(火)、7月22日(火)、8月12日(火)は休館

観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

\* 障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。\*( )内は20名以上の団体料金 \* 世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料



世田谷美術館分館  
向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL.03-5490-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



《渡月橋橋畔にて》[京都府京都市右京区嵯峨]1957年



《大原新雪》[京都府京都市左京区大原]1981年

本展では、洋画家・向井潤吉(1901-1995)にゆかりの深い、京都と武蔵野を描いた作品を集めてご紹介します。

戦後40年にわたり、全国各地の草屋根の民家を描き続けた向井にとって、京都は生まれ故郷であるとともに、好んで取材に赴く土地でもありました。とくに秋から冬にかけて、大原、丹波、嵯峨野などの民家や、近隣の奈良の風景も描いています。

一方、東京近郊や埼玉方面は、1933年に世田谷区弦巻の地にアトリエを構えた向井の最も身近な取材地でした。早春の頃には、梅の開花にさそわれるように出かけ、武蔵野の広い空とともに民家を描いています。また、郊外の宅地化が進むにつれて、次第にその足は秩父方面にまで延びていきました。

描かれた京都と武蔵野を見比べると、民家のたたずまいや季節感など、微妙な風趣の違いが描き分けられていることに気づきます。向井が愛してやまなかったふたつの風景を、どうぞお楽しみください。



《武蔵野の丘径》[埼玉県比企郡嵐山町]1974年



《春塘》[埼玉県川越市郊外]1984年

武蔵野を描くにしても、坂戸、一本松、飯能付近と無数にあり、奈良界限にしても西の京、白毫寺、新薬師寺から山の辺の道にかけて小刻みに歩いているし、京都や丹波も点々とある次第である。

向井潤吉「石狩から知覧まで」『読売新聞』1971年10月13日

## 世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL.03-5450-9581  
<http://www.mukajunkichi-annex.jp/>

- [交通案内]
- ◎東急田園都市線「駒沢大学」駅西口 徒歩10分
- ◎東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分
- ◎東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」下車徒歩3分

Instagram  
日々更新しています!



画家の暮らしの息遣いを今に伝える館内や、四季折々に豊かな表情を見せる庭など、向井館の日々の様子をご紹介しますほか、ミュージアムグッズなどの情報もお届けしています。



撮影:上野剛史

## 世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL.03-3416-1202  
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



◎ 宮本和徳

清川泰次の写真——その時代とまなざし  
2025年4月1日(火)～9月7日(日)

## 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL.03-5483-3836  
<http://www.miyamosaburo-annex.jp/>



◎ 宮本和徳

宮本三郎 部屋のなかで——人物と静物をめぐって  
2025年4月1日(火)～9月7日(日)



## 世田谷美術館

〒157-0075  
東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL. 03-3415-6011(代表)  
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

同時開催展

企画展  
ミュージアム  
コレクション

横尾忠則 連画の河  
野町和嘉—人間の大地  
ミュージアムコレクションⅢ  
1980年代のイギリス美術—展覧会の記憶とともに  
ミュージアムコレクションⅠ  
世田谷でインド  
ミュージアムコレクションⅡ  
もうひとつの物語—女性美術家たちの100年

4月26日(土)～6月22日(日)  
7月5日(土)～8月31日(日)  
1月25日(土)～4月6日(日)  
4月19日(土)～7月13日(日)  
7月26日(土)～11月3日(月・祝)

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。  
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。